

日光白根山山行報告

【山行日】2025年 7月20(日) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 5:00
【費 用】マイカー1台 : 1,600円
【メンバー】CL:鈴木、SL:藤原ト

飯野、佐藤、田崎、根本、福島、渡邊カ

【コースタイム】栃木市運動公園P5:00＝菅沼登山口 P6:20/6:40～弥陀ヶ池 8:35/8:45～白根山
10:10/10:25～避難小屋 11:20/11:30～五色沼
11:45/12:20～弥陀ヶ池 12:50//13:00～菅沼登山口P14:40/15:00＝栃木市運動公園P17:15



今年も山行アンケートで日光白根山のリクエストがあり、菅沼コースから登る計画を立てた。日光白根山は関東以北の最高峰でアルペン的な山容と、火山活動の名残である湖沼を有し変化に富んだ名峰である。標高も2500m以上あり、夏山に向けてのトレーニングにうってつけの山である。栃木市運動公園を5:00に出発し、東北道から日光宇都宮道を走りイロハ坂を經由して菅沼駐車場



に着く。駐車料金を払って車を止め、出発の準備をして菅沼茶屋のトイレを借りて済ませる。ストレッチを済ませたら出発し、広い道を緩やかに登って行く。案内板の所を右に折れ、広葉樹の谷沿いの道を登り、しばらく登ると右に斜面を登るようになる。30分登った所で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。コメツガやシラビソの中を九十九折れに登るようになり、岩や木の根の段差を越えながら登って行く。弥陀ヶ池まで0.9 Km の案内標識が立つ場所で休憩し、冷たいゼ

リーを食べて疲れた足を休める。ここからは幾分傾斜が緩くなり、座禅山の東斜面を巻くように登ると弥陀ヶ池に出る。弥陀ヶ池の西畔に付けられた木道を進み池の南岸の広場に着く。ゆっくり休憩を取り、白根山頂の溶岩ドームを見上げながら疲れた足を休める。ここから少し登ると座禅山の鞍部に出て、左に急斜面を登って行く。森林限界を超えると視界が開け、振り返ると弥陀ヶ池や菅沼、尾瀬燧ヶ岳や会津の山々が見渡せる。この先からザレ場を登るようになるとさらに急登になり、息が切れて岩陰で休憩する。さらにルンゼ状の岩場を登りつめ、右に急な岩場を登ると岩尾根に出る。ここからも岩場の急登が続き、傾斜が緩くなると小ピークに出て休憩する。



ここから白根山までほんのわずかで、一旦岩場を下り急な岩場を登り返すと山頂に着く。

山頂は多くの登山者で賑わっており、記念写真を撮るのも順番待ち。3組くらい待って山頂の記念写真を撮り、次々に登山者が登って来るので場所を空けて移動する。少し降りた平らな場所に移動



し、休憩して展望を楽しみながらブッセをいただく。山頂を見るとロープウェイから登ってくる登山者が長蛇の列を作り、山頂の写真を撮るのに1時間くらい掛かりそうである。我々は早く登って良かったねと話す。ここからは白根山の火口の縁を周り、五色沼避難小屋を目指す。奥白根神社の前を通り、ロープウェイからの道を右に分け火口の縁に付けられた道を進むと避難小屋への分岐に出て右に下って行く。滑りやすい砂礫の斜面を九十九折れに下り、道の両脇にはコマ

クサの可憐な花が待っている。去年はコマクサの大群落を楽しみながら下れたが、今年は花の数が少なく砂礫の中を探しながら下って行く。それでも初めて見る人は可憐な花に大満足で、花を見つけてはスマホに収めていた。この下りは展望も素晴らしく南側には中禅寺湖や社山、黒檜山が望

め、東に回り込むと五色沼や前白根山の展望が素晴らしい。急斜面を滑らぬよう慎重に下り、ダケカンバの樹林帯を過ぎると平坦な場所に出て、左に平坦な道を進むと五色沼避難小屋に着く。休憩して冷たいゼリーを食べたら五色沼へ向かう。谷間に付けられた道を緩やかに下り、樹林を抜けると展望が開け五色沼に出る。五色沼でランチタイムとし、それぞれが自分の居場所を見つけランチをいただく。暑さが苦手な渡邊さんは小さなカラマツの下にもぐり込み、自分だけの避暑地を見つけ満足そうに寛いでいた。ランチが済んだら湖畔の道を進み、弥陀が池に向かって樹林帯の急坂を登って行く。樹林帯を抜けると草原に出て五色山への道を右に分け、緩やかに下ると弥陀が池の南岸広場に出る。小休止して足を休め、往路を下って菅沼登山口に向かう。下りは皆さん元気で、会話が途切れることなく菅沼登山口に着く。靴を履き替えたら車に乗り、往路を戻って栃木市運動公園へ向かう。途中、竜頭ノ滝から中宮祠まで渋滞し、通過に時間が掛かり予定より遅れて栃木市運動公園へ帰着した。

